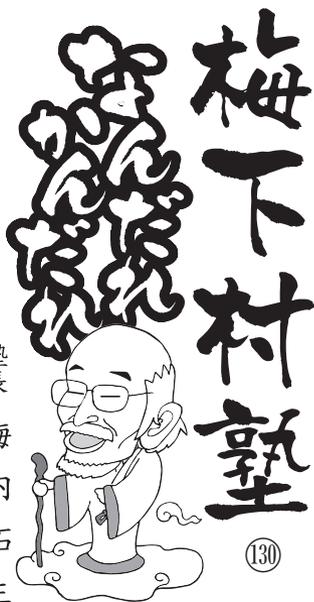


「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

(茶と「コミュニケーション」)

梅下村塾は(128)号に大船渡第一中学校の生徒の詠作品に対するお返し詠作品を寄せた「にしたま文華塾」のメンバーは自由な茶道をたのしみながら、地域文化価値に触れ、それを掘り起こし

地域の若者と共有することを目指した活動を展開しております。

西多摩のあきるの市にある五日市には明治憲法発布の10年も前に村の有力者たちが集まって地域の自主独立を目指した五日市憲法草案を起草し、明治政府に提示したが、政府はこれを無視して、明治憲法を発布したのである。地域の自主独立を目指した五日市憲法草案

(喫茶を詠む)

案の精神は色々な姿で西多摩の文化に受け継がれている。「にしたま文華塾」のメンバーによる自由な茶道は芸術、スポーツ、政治、経済と色々な領域とのつながりを展開している。

「にしたま文華塾」の茶道は茶を詠んで楽しむことが特徴である。茶道は禅、俳句、短歌などの世界と深い関係を持っており、短歌や俳句は季節など自然の変化や歴史などとのつながりが深かった。「にしたま文華塾」では現代風のキャッチコピーを使って、茶と世界のつながりを詠んでコミュニケーションを展開している。

たぎりたつ 釜を鎮める むかし人
噴火する火山を火と煮え立つ釜と結び付けている。

異常気象 地球たぎって 大津波
異常気象には地球の運動と人間の活動とが

相かぶさっており、大津波はそのひとつの現れである。

茶甕する 茶は膨らんで 鎮まれり
茶甕の運動によって

茶は膨張するが、茶の内と外の世界のバランスの妙を感じ取って鎮まって来る。

返句 膨張と 抑制の妙 茶の世界
菓子と茶 はらわたしみる 野の香り

一切れの菓子と茶の苦み、このバランスの妙味は 野の生命の香りである。

茶回しの 静かな挨拶 心しみ

礼をもって、茶を回し飲めば分かち合いの心が生まれて来る。

(東海新報記事から)
平成25年の締めくく

りの12月31日の世迷言は円高と円安のバランスを述べている。円安、円高など経済のみならず、何事においてもバランスは大切である。

バランスのさじ加減を何処に持っていくかが大切なのであるが、万人を納得させる妙案は表面には出てこない。妙案は出てこないが、地球上で人間が生きて行くための知恵を生み出す必要がある。それは何かを我慢するなかに、生きる喜びがうまれてくるという積み重なった歴史のから知恵を生み出すことにある。

「2012年、森と水と命の惑星」国際会議で提案された、文明の生き残りのための裏打ち、下支えの世界の創造へ向かって、「梅下村塾」と「にしたま文華塾」とのつながりが、この知恵を生み出す場になることを願っている。